

「ぼやき」は洗練された関西の話術です

四月月号読んだ方から「青木さん珍しく怒ってますねえ。今月は」という感想をいただきました。

怒ってるのやありません。ぼやいてるのですわ。

昔「ぼやき漫才」いうのがありました。今もあるのですかなあ。昔言っても昭和の後期の時代ですから、僕にとつては、すぐ前ですけど、昭和の後に平成があり、そして今は令和の時代ですから、やはり時代は経ったのでしようねえ。

この「ぼやき漫才」を演じてたのは、関西を中心として活躍していた人生幸朗、生恵幸子のご夫婦でした。

ご存知でしょうが、夫婦で漫才するのを夫婦漫才と言います。代表的なものにミヤコ蝶々、南都雄二、鳳啓介、京唄子があります。

もつともこの二組は離婚してしまいましたが、夫婦ならではの呼吸が、観ている人には面白かったんでしょう。

さて、その中の一組である人生幸朗、生恵幸子の夫婦は「ぼやき漫才」というジャンルで活躍しました。

よくあったやり方としては、幸朗師匠が、歌謡曲の歌詞や世相を取り上げて怒るんです。いやぼやくんですなあ。

ちなみに「ぼやく」というのは、他人に聞かせるのやなく、一人でぶつぶつと不平を言うことらしいですが、漫才ではやく

のは、人に聴かせるから、漫才として成り立つので、それが、ぼやきになるんでしょうか。

「ぼやき」で有名な人はプロ野球の野村元監督

考えていくとわからなくなりますので、「ぼやき漫才」の例を挙げます。

先ほども触れましたが、人世幸朗師匠は、歌謡曲の歌詞によく突っかかりました。

アリスというグループの堀内孝雄が昔「君のひとみは10000ボルト」という曲を歌ってました。この曲は、化粧品CMソングとして大当たりしたんです。

それに対して幸朗師匠は「目の玉は電気か？わしは電気代払ったことないで」とぼやくんです。お客さんはここで大笑いですが、これ今ならどうでしょう。笑うんでしょうか。おおらかな昭和の時代やったから、笑うたのかもしれない。今の笑い、もつとテンポ早ようて、突拍子もないですね。

それはさておいて、「ぼやき」で有名な人がもうひとりおりました。

プロ野球の野村克也元監督です。



●(株)アオキ取締役会長

青木 豊彦

(あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年国立和歌山大学客員教授に就任。2016年大阪市立大学学長特別顧問に就任(現在は、大阪公立大学客員教授)。2020年国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事。

野村さんは、バッターとしても戦後最初の三冠王をとるほどの強打者でした。

三冠王とは、一シーズンに首位打者・打点王・本塁打王の三つのタイトルをとった選手に与えられる称号です。

ちなみに昨シーズン、ヤクルトの「村神様」こと村上宗隆選手は、二二歳で史上最年少の三冠王をとりました。

この三冠王を、野村さんはキャッチャーという過酷で難しいポジションでとったんです。

野村さんはこのように選手としても、優れた方ですが、むしろ監督としての名声が高く、南海(今のソフトバンク)、ヤクルト、阪神、楽天は、リーグで最下位になったとき、監督に就任するのを依頼してきましたと言います。

人に言いにくいことを ぼやいてやんわり知らせる

野村さんは、京都府の竹野郡網野町、今の京丹後市のご出身です。

こう並べると「ぼやき」は関西人ばかりですね。関西人の特徴かな。

東京に似たような表現があるなら、教えてください。おなじ国やけど、まだまだ気風はちがいますねえ。

野村さんは「ぼやきは、高いところを上ろうとする意欲の變形」と言っていたそうです。

これやね。「ぼやき」の真髄は。単なる愚痴やないんです。むしろ、洗練された関西の話術やないですか。

(朝日新聞社 / 時事通信フォト)



●「ぼやき漫才」ひと筋の漫才師・人生 幸朗さんと妻の生恵 幸子さん

インターネットにありましたが、兵庫ある武庫川女子大の言語文化研究所長さんの言葉に「人に言いにくいことを伝える」というのがありました。

東京は直接的に言うけど、関西はやんわりと間接的に伝えようとしています。

これ深いですわなあ。僕も、講演では、その主催者、団体に寄り添って、ぼやいてます。機会あったら聞きに来てください。

ようやく、コロナも患者さんが治まってきて、全国各地で講演ができるようになりました。

「外でならかまわないけど、ウチではやくなら、一人で小さな声でやって。いつも大きな声でかなんわ」。

いつも隣にいる方からのお言葉です。これ、怒られているのでしょうか。ぼやかれているのでしょうか。